

北九州市立菊陵中学校
学校だより
令和4年12月5日号
校長 上赤義人

学校教育目標
生徒一人一人の個性の伸長を図り、
徳・知・体の調和のとれた、
感謝の心をもつ自主した生徒の育成

冬の暦から～新年(新学期)の決意を～

冬至、元旦、十日戎(とうかえびす)、小正月…、冬の暦に記載されているいくつかの言葉があります。長い歴史の中で、常に人々の暮らしに欠かせなかった暦。ひとつの季節の表現や行事には、四季を愛(め)でる気持ちとともに健康や豊作への願いがあふれています。特に、冬休み期間中には、新年を迎えることもありそれらが多くあります。除夜の鐘、おせち料理、初もうで、鏡餅などにももちろんその意味や願いがあります。

しかし、今日では忙しい時間の中で生活にゆとりを感じる機会も減っているようです。そんな毎日を少しでも見直すためにも、是非この冬休みには、その時々
の行事やそこにある知恵や願いを感じ取りながら、新学期、そして新年の決意を持ちましょう。一年の計は元旦にあり。

保護者・地域の方へ
季節が確実に変わっていくように、一人の生徒は大きく変容を遂げ、確実に成長しています。このような生徒の成長を支えていただいている保護者・地域の方々には、感謝しております。ありがとうございます。今後とも、よろしく願います。まもなく冬休みを迎えます。冬休みには、様々な年中行事もあるかと思えます。是非、ご家庭で、お正月についてお子様と話をしてみてください。お正月は、日本の伝統的な行事であることは言うまでもありません。お正月の行事には、ひとつひとつに意味があります。その意味を子どもたちに語ること、いにしえの人々の思いや知恵を知るとともに、今を生きていることの大切さを感じることもできるのではないのでしょうか。おせち料理は、神様への収穫物の報告・感謝の意や子孫繁栄などの願いが込められています。子どもたちと、ゆっくりそんな話ができる正月にしたいものです。よいお年をお迎えください。



校長先生からのクリスマスプレゼント

「賢者の贈り物」O. ヘンリーの作品

貧しい夫婦がおりました。明日はとうとうクリスマス。

妻のデラはつぶやきます。「たった1ドル87セント」これは彼女が毎日必死にためたお金の全部。これじゃ夫のジムに“値打ちのあるもの”を買ってあげたくてもどうしようもない。でも彼女には宝物が一つだけありました。それはシバの女王でさえ羨むであろうという長くて美しい栗色の髪。「そうだわ、これを売ろう。」髪は、20ドルになりました。これで21ドル87セントあります。

一方ジムにも大切にしている宝物の金時計がありました。でも革紐がぼろぼろになっていました。「あの金時計に合う上品なチェーンがいわ。」デラは全ての店を見て回り、とうとうプラチナチェーンを買って求めました。

帰ってきた夫のジムはデラの髪を見てたいそう驚いて力を落とします。そしてそれはデラが想像していなかったとても謎めいた表情でした。「あなた、私の髪がなくなったら私への愛情もなくなっちゃうの？」ようやく口を開くことができたジムはこう言います。「見損なっちゃ困るよ。そんなことで恋人に愛想をつかす僕じゃないさ。ただ・・・この包みを開ければわかるよ。」渡された包みの紐を解き、やがて泣き出すデラ。

そこには、かつて彼女が憧れていた横髪用とうしろまげ用のくしのセットが並んでいました。無くなってしまったあの髪にとてもよく似合う色の・・・。ひと泣きして気を取り直したデラは言います。「私の髪ってすぐ伸びるのよ、それより私あなたの時計のチェーンを買ったの。さあ付けてあげるから出してみてください。」うなずく代わりにソファにどっと座り込むジム。

「プレゼントは片付けようよ。お互い、今すぐ使うにはもったいなさすぎるよ。実は、くしを買うお金を作るために時計を売っちゃったんだよ。」

「さあ、夕食にしよう。肉を温めておくれ。」

